

「優良取組認定制度」について

R5年度開始
の新制度

本制度の狙い・目的

- リース事業者の顕著な実績や取組を評価し、本制度を通じてリース事業者の脱炭素を始めとするESGの取組を経営戦略に組み入れるなど、自社の強みを活かした実効的な取組を促進します。例えば、リース先はもとより、当該企業が属するバリューチェーン全体の脱炭素化を面的にサポートするなど好事例を共有することでリース業界全体のESGの取組を推進することを目的とします。

実施内容

- 優良取組認定事業者として認定
- 認証ロゴマークの付与
- 優良取組認定証の交付

※複数年受賞者に対し、金銀色の認証ロゴマークを付与。
2年連続受賞者には銀色、3年以上の連続受賞者には金色を基調とするロゴマークを付与予定



評価基準

◆ ESGリース促進の取組内容が顕著であること

- ・ 新たなマーケット創出など追加性のある取組。
- ・ ESG・SDGsに係る先進的なリース商品の開発・推進を通じたESGリースの普及を実施しリース先企業等の脱炭素化等の行動変容が明確である取組。
- ・ リース先企業等が所属するバリューチェーン全体を支援する面的な取組のうち指定リース事業者が主体的に関わった取組。
- ・ リース先企業等が所属する経済団体などのネットワークにおいて指定リース事業者が主体的に関わった取組。
- ・ 自治体事業に積極的に関与した事がみとめらる取組。
- ・ 上記以外の取組にて、その内容が顕著であると認められる場合。など

※令和6年度に引き続き、上記評価基準に該当する申請内容に対して「先進性」「波及性」「実績」「主体性」「行動変容」に着目することに加え、GHG排出削減目標、サステナブルファイナンス目標についても評価し選定。

※令和7年度優良取組認定事業者※

(五十音順)

- ・池田泉州リース株式会社
 - ・オリックス株式会社
 - ・共友リース株式会社
 - ・ぐんぎんリース株式会社 (3年連続)
 - ・十六リース株式会社 (2年連続)
 - ・第四北越リース株式会社
 - ・東京センチュリー株式会社 (3年連続)
 - ・東邦リース株式会社 (2年連続)
 - ・ひめぎんリース株式会社
 - ・三井住友ファイナンス&リース株式会社 (3年連続)
 - ・三菱HCキャピタル株式会社 (3年連続)
- 令和5年度は11社、令和6年度は10社を認定